

平成 28 年 7 月 4 日

各町会長各位

鳴野地域活動協議会
会 長 山 形 彰 男
鳴野地域活動協議会第一部会
部 会 長 田 中 良 直

ご近所 お元気ですか隊（案）

地域の高齢化率は年々上昇傾向であり、独居高齢者や高齢者世帯が増加しています。地域とのつながりも希薄となり、家族が身近にいない方や仲のよかった友人が引っ越す等、信頼できる方々が周りから居なくなることで孤独を感じている高齢者は少なくありません。実際に高齢者の方々からは「何事にも億劫になってしまう」「体が思うように動かなくなって外に出ることが減った」「もの忘れが増えてきた」などの不安の声が聞こえてきます。

鳴野地域活動協議会 第一部会では、地域からの孤立や無縁化を最小限にとどめ住民相互のおもいやりを強化することで、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための活動を行っています。その中で高齢者の世帯を把握する一環として「おもいやりマップ」を作成し、世帯状況について聞き取りを行ってきました。

その活動をさらに充実させるため、高齢者の孤立を防ぎみんなが安心して暮らしていけるよう、身近な地域の方々との交流や日常的な見守りを図り、つながりあうことで問題を早期に発見し、必要な支援を受ける事ができる体制づくりの検討をすすめています。

今回我々第一部会としてご近所お元気隊を発足し、メンバーを募集していこうと考えています。

お元気ですか隊

「あの人大丈夫かな？どうしているかな？」と普段から気にかけてくださっている方はたくさんいるかと思います。しかし一方で「まあいいか」と流していることもあるのではないのでしょうか。住民一人一人が他人事ではなく主体的に周りを気にかけるように意識し、日常の中の小さなSOSに気づき、発信していただくことが地域から孤立している方の大きな支えになります。

「見守り」といっても毎日訪問したり声をかけるということではなく、近隣にお住まいの不安を抱えている高齢者に変わりがないかと遠目から気にかける事も見守りの一つです。

別紙の「見守りチェックシート」を参考に、時間がある時に近隣の高齢者を見守り、気になる時には地域福祉支援員へ連絡していただきたいと思います。

（※別紙参照）

その後は支援員が中心となり民生委員と情報共有をしながら支援にあたり、必要に応じて城陽地域包括支援センター等の相談窓口へ支援の輪をつなげ、一緒に考えていきます。

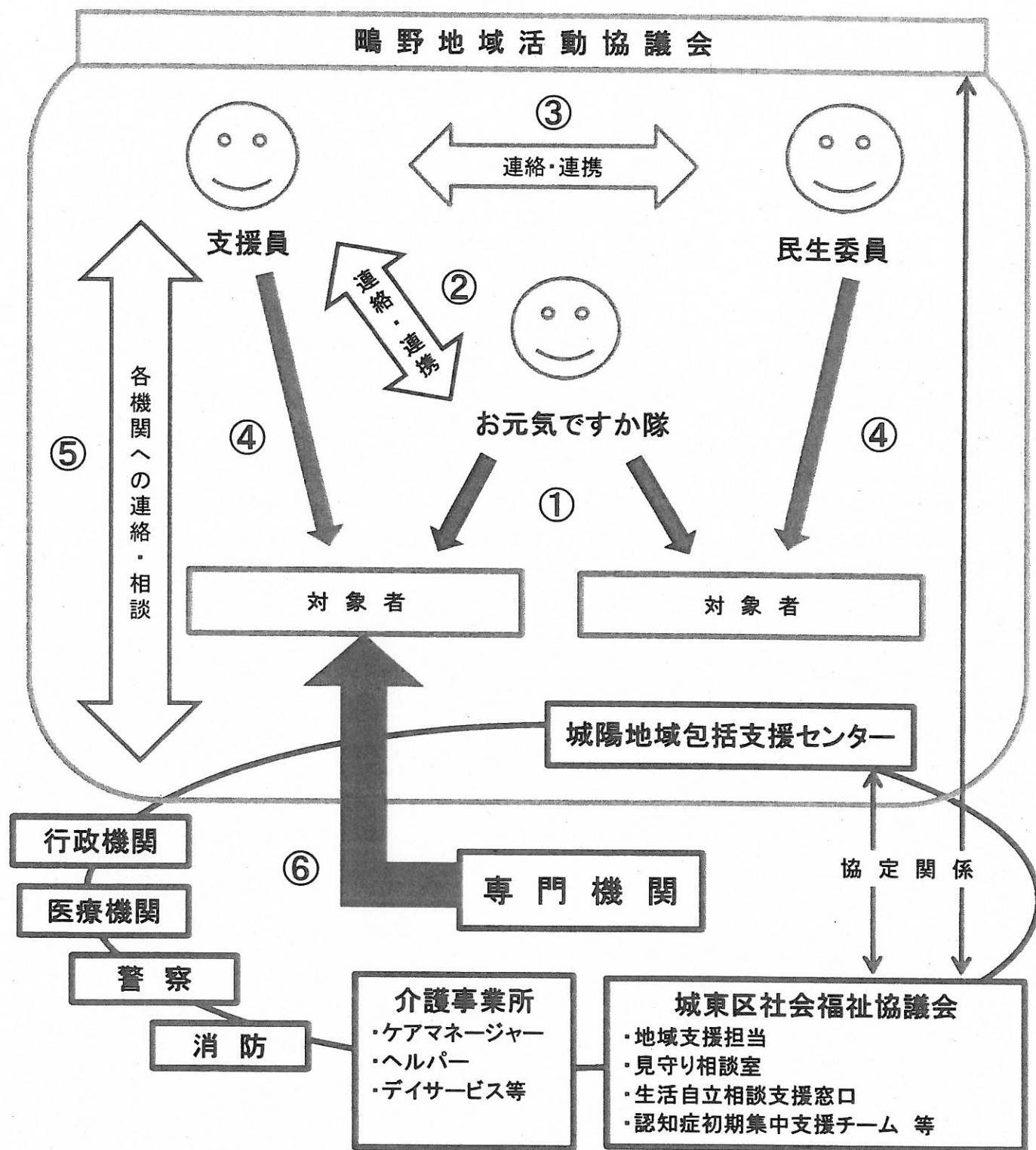
ともに喜び、共に楽しみ、そして悲しむことのできる顔と顔の見える関係づくりを目指します。

是非皆さまのお力をお貸しください。

身近に住むあなただからできることがあります。

私たちと一緒に「鳴野のまち」のことを考えていきましょう。

～ ご近所 お元気ですか隊 体制の流れ ～



- ① お元気隊による見守りの実施
- ② 見守り結果を支援員へ報告する
- ③④ 見守りの情報を民生委員と共有し、見守り体制を強化する
- ⑤ 支援員を中心に必要に応じて城陽地域包括支援センター等各専門機関へ相談、情報共有を行う
- ⑥ 支援員、民生委員、行政機関、医療機関、社会福祉協議会、介護事業所等必要に応じ連携をとりながら支援にあたる

※個人情報の取り扱いに関しては、城東区社会福祉協議会と嶋野地域活動協議会、城東区社会福祉協議会と行政、地域包括支援センターはそれぞれ協定を結んでいます。